

新型コロナウイルス感染症対策

Part2

– 現場で必要な対策がすべて分かる –

現場で培ったノウハウをお伝えする安全な介護が、動画セミナーを配信中！
5月のPart 1に続き現場対策を一層強化！

今すぐ抜粋版（13分）を試聴しよう！

●PC版 → <https://youtu.be/SecAuUH1PHU> ●スマホ版→



動画セミナー提供方法

- 提供対象：介護事業者団体・介護事業法人など
- 視聴期間：1ヶ月間～3ヶ月間
- 提供資料：セミナーテキスト・付属資料
- 視聴開始：任意の期日を設定できます
- 提供価格：介護事業者団体50,000円+消費税
介護事業法人40,000円+消費税

動画セミナー視聴までの流れ

- ①申込書を弊社宛メールで送付
申込書は弊社ホームページで：www.anzen-kaigo.com
- ②弊社より主催者にセミナー視聴ツールを送付
URL・QRコード・パワード・セミナーテキスト・付属資料
- ③視聴者にURL・QRコード・パワードを案内
- ④参加者はパソコンやスマートフォンでセミナーを視聴

「新型コロナウイルス感染症対策・Part2」の概要

1. 新型コロナ感染症の知識
2. 過剰な対策とムダな対策を見直す
 - ・新型コロナ感染症対策の現状（調査）
 - ・こんな対策がなぜ必要なのか？
3. 新型コロナ感染症対策のポイント
 - ・感染経路別に対策を区別する
 - ・場面別に対策の方針を明確にする
 - ・感染未発生時と感染発生時の対策方針
4. 入所施設の新型コロナ感染症対策
 - ・感染未発生時の対策
 - ・感染疑惑者が発生した時の対策
 - ・感染発生時の対策

※本セミナーでは新型コロナウイルス感染症を
「新型コロナ感染症」と表記します

■セミナーテキスト（手持ち資料）の例

●こんな対策がなぜ必要なのか？

マスクを付けていない利用者と2m以内で会話をする時には、サージカルマスクを付けてフェイスシールドを着用する

フェイスシールドは何のための用具？

●こんな対策が多い理由

①感染者未発生の段階で感染発生時の対策を実施している

タブレットの画面を1日5回アルコールで消毒している
1日3回各部屋の窓を開けて換気している
介助の都度手袋を替えている

②対策の効果を確認せずに実施

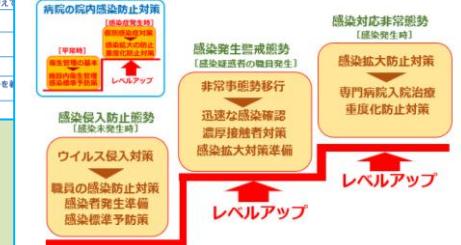
・食事介助では手袋は付けてマスクをして手袋を着用する
・食事介助では利用者の顔にアクリル板を設置して換気している

③自治体からのピント外れの指示で仕方なく実施

・利用者と医師はフェイスシールド着用
・施設内では利用者の顔にアクリル板を設置して換気している
・身体介護は手袋とエプロンを着用

●ゴーグルは何のための用具？

4. 入所施設の新型コロナ感染症対策
●平常時と感染症発生時の対策を明確に分ける



■主催者に提供する付属資料「現場作成ツール」

- ①職員感染時の施設の対応（家族向け）
- ②介助場面での感染防止のために
- ③感染時重篤化予測指標と対応方法
- ④「感染したかも！」と思ったら（職員向け）
- ⑤基礎疾患を持つ職員への配慮

動画セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田
mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275